事業番号	09 04 36	事業改善シート(25年度実施事業分)	口予算要	求	口当初予算案	○ □補正予算案 ■点検	
事業名	漁業指導事業			担	部局	農政部	
尹未石	但关拍导争未				課·室	園芸畜産課	
40 A = 1. F	プロジェクト			当 E-mail		enchiku@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年 計画	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業	実施期間				
Ī	旭界の脳石門展開	2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	S25 ∼	

1 事業の概要

日七才次	漁業協同組合による漁場の利用促進、河川環境の保全等を図り、漁場が魅力ある地域資源となるよう内水面漁場管理委員会の円滑な 運営に努め、漁業権免許の一斉切替を円滑、確実に実施する。
日相り安	運営に努め、漁業権免許の一斉切替を円滑、確実に実施する。

現状 アユの不漁等により遊漁者、漁業者が減少し、漁協の経営状況が悪化している。(30漁協中H22:単年度赤字8漁協、累積赤字11漁協)

県が関与 する理由 県民との協働による実施: 困難

【左記の説明、根拠法令等】 漁業権色塾・漁業注第10条 内水面漁場管理委員会・漁業注第130条 地方自

漁業権免許:漁業法第10条、内水面漁場管理委員会:漁業法第130条、地方自治法第180条の5組合検査:水産業協同組合法第123条により県の業務とされているため県が実施。

① 成果目標(H25)

- ○現行の漁業権20件について、存続期間満了(25年12月31日)までに確実に免許する。
- ○漁場の総合的な利用や漁業生産の発展を図るため、内水面漁場管理委員会を3回開催する。

② 事業内容

(単位:千円)

事業内容

7 7/11/1						1	
項目	実施方法	法 H25事業実績		H25		H26	
(共日	大肥万仏			(当初)	(決算)	(当初)	
1(1) 免許切替に伴う内水面 漁場管理委員会、公聴会の 開催	直接	・利害関係人の意見を聴く公聴会の開催(4か所)・委員会の開催(1回) 免許内容の事前決定案の答申		677	677	0	
1(2) 免許切替データ入力等	(雇用基金事業) 免許切替データ入力等 直接 ・漁業権免許切替に係るデータ入力 ・免許内容等の周知のための資料作成、配布		2,027	1,809	0		
2 内水面漁場管理委員会の 直接 ・内水面漁場管理委員会の開催(3回) ・現地調査の実施(1回)			1,271	943	1,256		
3 漁業指導調整事業 直接・漁業協同組合の法令遵守等の指導			264	196	264		
4 組合検査指導事業	直接	・漁業協同組合等の業務、会計状況の検査		38	28	38	
			合計	4,277	3,653	1,558	

	Z	<u> </u>	分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	-		前年度繰越				
	予質		当初予算	1,220	1,586	4,277	1,558
事	算額		補正予算		410		
業			合計(A)	1,220	1,996	4,277	1,558
^			国庫支出金	679	660	645	645
⊐	Aσ)	県 債				
7	財源	1	その他(手数料、繰入金)	19	429	2,131	31
^	ス		一般財源	522	907	1,501	882
۲	決	1	算 額(B)	1,220	1,622	3,653	
	概算		職員数(人)	0.90	0.90	0.90	0.90
	人件	‡費	概算人件費 (C)	7,432	7,432	7,432	7,432
	概算	事	業費(B(A)+C)	8,652	9,054	11,085	8,990

成果目標の達成状況							
項目	H24末 (実績)		H26				
78.11		目標	成果	達成状況	目標		
漁業権免許	-	20件	20件	達成	-		
委員会の開催	3回	4回 4回		達成	3回		
組合検査の実施					10漁協		

目標に対 する成果 の状況

・漁業権20件を平成25年12月4日免許した。

・漁場の総合的な利用や漁業生産の発展を図るため、内水面漁場管理委員会を4回開催した。

2 今後の事業の方向性

今	後、	事	業
を	ビσ.	ょ	う
12	して	(J	き
たり	いカ	١.	

□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施

漁場が魅力ある地域資源となるように、内水面漁場管理委員会の運営や漁協の常例検査の実施を通じて、漁業協同組合による漁場の利用促進及び河川環境の保全等を図っていく。